

講演会 大好評でした！！



去る6月1日、柏木敏宏先生をお招きして講演会を開催しました。

168名もの参加があり、会場は超満員でした。

ご講演「高次脳機能障害の臨床を支える言語聴覚士魂」では、経験豊かで情熱溢れる柏木先生の貴重なお話を聴くことができました。

以下、ご参加いただいた会員の方々の感想等をご紹介します。

【主な感想】 ※アンケート総数:65

(ST1年未満)

- ・ この2ヶ月間で様々な患者様を担当させていただき、訓練内容を考える上でこの方にはとても難しいことだろうというものはなかなか実施していませんでした。しかし、様々な刺激を入れることで患者様の隠れた能力を引き出せるということだったので、いろんなことにチャレンジしたいと感じました。
- ・ 患者様にとってSTがどういう存在であるのか、どういう存在にならなければならないのかということについて考えることができました。また、患者様のできることに注目し活かしていくという姿勢を忘れずに臨床に取り組んでいこうと思いました。

(ST1年以上～5年未満)

- ・ STの仕事が「患者さんの隠れた能力の開発・引き出す」ことのお手伝いである、との言葉がとても印象的でした。私がお手伝いのような気持ちであれば、患者さんやその家族の気持ちの変化を促せるのでは・・・と思いました。
- ・ 本日は、STとしての夢を持つ。やるぞ！と思える講演を聞かせていただきとても前向きな気持ちになりました。また、コミュニケーションとは何か、生きるということは何か、まだ私にとってとても難しい課題であるなあと感じました。しかし、柏木先生の思いの強さに「前向きに考えよう。楽しもう。」と心を動かされました。明日から頑張れそうです。
- ・ 講演を通して、STとは何か、障害とは何か、そして障害文化というものについて広い視点から捉える機会を頂き大変勉強になりました。

(ST5年以上～10年未満)

- ・ 「STの4つの仕事」の中の「臨床」に比重が偏りつつある気がする。それに気づくことすら忘れていた気がします。STの入り口で自分がとても大切に思っていたはずのことが、時事の流れと共に小さくあたかも非日常であるもののように感じたことに少し慌てました。貴重な機会を頂きありがとうございました。
- ・ 思想を伺い、社会活動につながる協会の重要性を改めて実感しました。患者さんの思いを受け止めて、ご本人の隠れた能力を見出すお手伝いをしたいと思いました。
- ・ STとしての役割について改めて振り返ることができました。初心を忘れず、また経験を活かしながら対話能力を高めていきたいと思えます。

(ST10年以上)

- ・ 対話について焦点化していただき共感しました。また文化についても興味があり仲間と取り組んでいます。最後の方になぜヒトは障害を持つ人と共存するように仕向けられているのかという問題提起については宿題にしたいと思います。近親相姦回避との共通性を述べるができるかどうか、今はまだ理解に達しませんが文化人類学的な視点からも考えてみたいです。「哲学」ということに心惹かれながら日々過ごしています。
- ・ 日々の臨床の中で感じること、考えること、患者さんから学ばせていただいていることを聴かせていただきました。三谷さんのお話もビデオを思い出しながら彼の表情が浮かぶようでした。

また、受けてみたい講習会・勉強会等に対するご意見や県士会に対するご意見・ご要望等が多く寄せられました。

ご意見を参考にさせていただき、今後、会員の皆様に満足していただけるような企画を積極的に実施していきたいと思えます。

【学術局】